

ニシキギ科 ニシキギ属

マユミ (真弓)

Euonymus sieboldianus Blume

自生環境

山林、林縁 など

原産地

日本在来

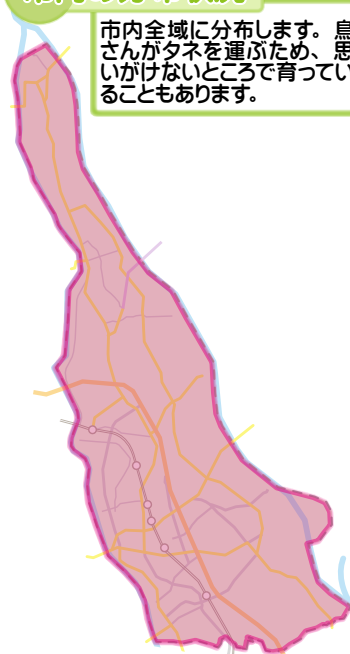
生育を脅かす要因



市内では比較的多く見られる樹種ですが、やはり雑木林の開発や伐採などの影響を受けて、ひところ前に比べるとずいぶん少なくなりました感があります。

市内の分布状況

市内全域に分布します。鳥さんがタネを運ぶため、思いがけないところから育っていることもあります。



特徴

- ☆ 雑木林の縁などに生える、高さ3～5mほどの落葉樹です。鳥さんがタネをあちこちに運ぶため、思いがけないところから育っていることもありますが、明るい場所を好む樹種なので、林内のうっそうとした場所にはほとんど生えません。
- ☆ 枝はあまり太くならず、華奢な印象がありますが、とてもしなやかで簡単には折れません。そのため古くは弓の材料に使われました。ニシキギとはちがい、枝に翼はありません。新芽は山菜として食用になります。また葉は秋になると鮮やかに紅葉します。
- ☆ 5～6月ごろ、春に新しくのびた枝のつけ根に直径1cmほどの薄緑色の花を多数咲かせます。果実は成熟するにつれ果皮（果実の皮）がピンク色になります。秋になると果皮は4つに割れ、真っ赤な種子が顔を出します。種子はふつう4個で、すぐには落下せず、果皮の縁にくっつくようにぶら下がります。

弓矢のほかにも…

枝がとてもしなやかで折れにくいことから、古くは弓をつくるのに使われました。名前の由来もそこからきています。しかしマユミの木材の用途はそれだけではありません。材の質がとても緻密で美しいことから、こけしや櫛、将棋の駒、箱物など、細かい加工を伴う木工品に広く使われています。また木目がなくやわらかいことから、ハンコを掘るのにも最適で印材としても使われます。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

